

## 今年度の校内研究について

子どもたちが、よく頑張り輝いた体育学習発表会から早くも1か月が経とうとしています。日増しに秋も深まり、朝夕は寒ささえ感じる頃となってきました。保護者の皆様には、なお一層お健やかに過ごしのことと存じます。

本校では、平成30年度より「特別の教科 道徳」における指導法の工夫について研究を進めてきました。今年度は、昨年度の成果と課題から、研究主題に「自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成～道徳科の指導と評価の質的向上～」を掲げ、校内研究に取り組んでいます。今年度は、全学級が研究授業を行います。教室の密を避けるために保護者・地域の方々への授業公開は行いませんが、今後も、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 【研究主題】

自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成  
～道徳科の指導と評価の質的向上～

このような児童を育てるために...

「この学習を通して、このようなことを考えて欲しい、深めて欲しい」という児童の学習の姿を明確にする。

そのために...

### 指導の工夫

- ・児童の実態や教材の特質を考慮し、ねらいをもった上での意図ある指導にする。

板書

動作化

発問

役割演技

教材提示

アンケート

など

### 評価の工夫

- ・児童の学習する姿を適切に把握し、フィードバックする。

ワークシート

座席表

ネームプレート

付箋

など

今年度は、3つの分科会（低・中・高学年）に分かれて、児童の実態や指導、評価の工夫を考えて、研究を深めております。裏面では、10月14日（水）に実施した高学年分科会（5-1、5-2、6-1、6-2）の様子をご報告いたします。ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

# 第1回研究授業（高学年分科会）の報告

## 5年生 「ブランコ乗りとピエロ」 B 相互理解、寛容



今回の学習を通して考え、深めたいこと

- 1 相手の立場や気持ちを考え、広い心をもって生活していくことの素晴らしさ

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ①物語に出てくる役を児童自身が演じ、登場人物の気持ちを考えさせた。役割演技（体験活動）を行うことで、登場人物の心情をより詳しく感じている様子だった。また、相手を理解することや寛容な心をもつことの難しさについても考えている姿が見られた。
- ②児童の考えを授業前半と後半でワークシートに書かせることで、考え方の変化に気付かせることができた。本学年の児童は、自分の考えを継続的に書かせることで、気持ちや考えを文章化することへの抵抗感を少なくしている。気持ちを文章化させることで自信をもって発言していた。

今後の課題等について

- ①「相手の立場に立つ」や「広い心」をもって生活していくことの難しさや大事さを理解することを基盤にし、自分自身の学校生活に生かし、実践するという意欲をもたせていける指導が今後は大切だと思う。

## 6年生 「みんな、おかしいよ！」 B 相互理解、寛容



今回の学習を通して考え、深めたいこと

- 1 異なる考えをもつ相手を理解し尊重する大切さと難しさ
- 2 「相手と理解し合う」ことについて、自分のこれからの在り方

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ①事前アンケートや前時のワークシートで実態把握したことで、本時の価値により迫ることができた。
- ②相手を理解できない「わたし」と理解しようとした「真紀」。登場人物2人の心情を追って、対比的に板書したことで、多面的な理解につながった。
- ③座席表やワークシートを活用して評価をした。座席表には、事前アンケートの結果を記録し、児童への個別の声掛け等で活かせるようにした。

今後の課題等について

- ①「相互理解、寛容」において、互いの意見を受け止めたり、伝え合ったりすることが大切である。今回の授業の中では「受け止められた人」と「受け止められなかった人」について考えたが、今後は、自分の意見をどのように相手に伝えていくか具体的に考えていくことも必要ではないかと思う。
- ②道徳の授業において児童の心情は、様々な場面で変化している。表情やつぶやき、うなずきなど細かな変容も見とるために、様々な評価方法を検討していく必要がある。

第2回研究授業は、11月25日（水）中学年分科会で行う予定です。